

発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度(令和5年度)で10回目となります。

中国四国農政局管内では161件の応募があり、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として7地区と2名が選定されました。

また、中国四国農政局では、応募のあった地区(者)の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として12地区と1名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「奨励賞」として23地区と1名を選定しました。

さらに、今回は「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」が平成26年から始まり、第10回を迎えた記念として、過去に選定された優良事例の中から、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる事例を募り、18地区と4名の応募がありました。

今年度、応募のあった地区(者)の事例について、その地域の「農山漁村(むら)の宝」として広く発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にさせていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>

令和6年3月

中国四国農政局農村振興部都市農村交流課



目次

○ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」全国選定 及び 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」 の取組概要	1
○ 応募地区一覧	5
○ 応募地区位置図	6
○ 応募地区の取組事例	7

第10回ディスカバー農山漁村(むら)の宝 全国選定



島根県大田市

大田商工会議所

グランプリ

- ★漁獲高の大半が県外に出荷され、市内でほとんど消費されない大田市産あなごの大きさと美味しさに着目して、10年間で14%の人口減少が進む大田市の活性化を目指し、「大田の大あなご」の名称でブランド化に取り組む。
- ★大きくなるにつれて脂質が増え旨味成分が増していることをデジタル検証によって確認。観光DMOや飲食店等を巻き込んで協議会を形成し、料理コンテストの開催や出前授業を通じて大あなごの魅力を継続して発信。



行列ができる飲食店のあなご天井と漁業者

島根県大田市

笠木 真衣

優秀賞

- ★平成22年から羊毛加工の技術を学び、平成28年に創業。平成30年に島根県大田市に移住して、ヒツジの飼育を開始。飼養のノウハウを蓄積しながら自家羊毛製品を開発。
- ★農地(5反)を取得し米を作り、羊のフンや敷藁を堆肥化して活用。生産した米は「ヒツジ米」として販売。羊の放牧による除草や、自治会と共同で毛刈イベントを開催。



糸紡ぎのようす

ヒツジの放牧風景

高知県大月町

大月町備長炭生産組合

優秀賞

特別賞

- ★地域に自然分布するウバメガシから備長炭を生産。貴重な資源であるウバメガシを将来に残すため、循環利用可能な山づくりや苗木づくり、植樹祭等の人と自然の共生社会づくりを実施。
- ★地元小中高生への森林環境教育の継続的な開催のほか、育成した苗木を町有林に植栽することで資源循環利用による持続的産業を実現。



植樹祭

小学校での「製炭学習」

広島県神石高原町

株式会社BINGO

特別賞

- ★有害駆除される猪の9割が埋却されるなど、捕獲後の処理が課題となっていた地域で2箇所の処理施設を新設。止め差し・搬出・行政への報奨金申請まで一貫して対応し高齢狩猟者の負担軽減、若手狩猟者の獲得及び命を有効活用する取組。
- ★個体判別により食肉用とペットフード用に分けることで顧客満足度を向上させ、地域のジビエ肉のブランド化やペットフードの輸出も視野に入れるなど活動を拡大。



処理された猪肉

ペットフード
プロモーション活動

愛媛県伊方町

朝日共販株式会社

特別賞

- ★フェリー乗客の集客やイベント開催で、地元の一次産品を発信する地域活性化活動、大学生と共同し、しらすを有効活用した新商品開発の他、輸出拡大に向けた取組を実施。
- ★バイオプラスチックトレーへの切替えや地元漁協・ダイビングスクールと連携した藻場礁の設置実験等の環境保全活動、子どもたちへの食育活動を実施。



しらす漁

藻場礁設置

高知県黒潮町

特定非営利活動法人
NPO砂浜美術館

特別賞

- ★4kmの砂浜を美術館に見立て、四季折々のアートイベントを開催。町外からの運営ボランティアの宿泊と食事は、中山間地域にある集落活動センターと連携し、地元住民と交流。
- ★砂浜に隣接したスポーツ施設を活用して合宿や大会を開催し、宿泊・弁当等を手配。また、南海トラフ巨大地震の津波予測をきっかけに防災学習プログラムを開発し、主に中高生の教育旅行を受け入れを実施。



Tシャツアート展

海の脅威と恵みを学ぶ
防災学習プログラム

岡山県玉野市
富永 邦彦

- ★ECサイトやSNSを活用して消費者から事前に注文を受けて、必要な魚だけを得る国内初の「完全受注漁」を実施。
- ★水産資源の乱獲、価格の不安定性、漁師の過労問題、後継者不足問題といった、現在の漁業の課題解消に取り組む。



国内初の「完全受注漁」に取り組む富永夫妻



鮮魚セットを作っている様子

広島県三原市
株式会社八天堂ファーム(八天堂ぶどう園)

- ★オーナー不在のぶどう園を、リカレント教育受講を通じて関係構築した社会福祉法人と共に引き継ぎ運営。農福連携で生産した果実を加工し付加価値をつけて販売することで収益性を高めるとともに、サステナブルな商工農福連携活動を実施。
- ★収穫したぶどうの規格外品をジャム加工しパンを販売する他、農福連携事業者から苺を調達して新たなブランド化を行うなどの取組も実施。



オーナー不在の竹原市のぶどう園を再生 令和5年 新ブランド「果実なくリーむパン」

広島県三原市
広島みはらプリンプロジェクト実行委員会

- ★地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目。「デザート」と「デリカ(惣菜)」の2カテゴリーのプリンを活用した官民連携のまちおこしを実施。
- ★1次生産者等の所得向上や地域内消費の拡大、食の付加価値向上に向けて、広島みはらプリンの認定や催事への出店、販路開拓等を実施。



各催事では約15~20種のプリンを販売



ガイドブック「おでかけプリン」

中国四国農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定



鳥取県境港市
さかいみなと中野港漁村市実行委員会

- ★沿岸漁業者(小型底曳網)が中心となり鮮魚を直売。平成25年から令和4年までの間、漁村市を28回開催。現在は年4回毎回1500人前後が来場。消費者と直接言葉を交わして魚の特徴、調理方法を伝え、効果的に魚食を普及。仲買と連携し、ふるさと納税返礼品としても提供。
- ★地元高校が市を課題研究の場とし、市の運営に協力。地元水産関係企業へ就職する生徒も。園児には売り場見学やタッチングプール等の食育も実施。



大盛況の中野港漁村市



高校生が未就学児に境港サーモンを見せる

島根県安来市
シバザクラの会

- ★永田集落農地・水保全管理活動組織を中心に行ってきた棚田のシバザクラ植栽活動、農村景観による都市との交流の広域展開、更なる地域活性化のため令和4年度設立。シバザクラ9万本、花桃500本を植栽。
- ★春に「猿隠高原シバザクラ祭り」を開催。SNS等で積極的な情報発信を行い4年度は約4,000人来場。関係人口増と地域活性化に効果。



各スポットにシバザクラ花絨毯と花桃が満開に



「シバザクラの里猿隠高原比田米®」販売中!

岡山県備前市
一般社団法人みんなでびぜん

- ★日生町にて漁協、小中高生、消費者等が協力しアマモ場を再生。アマモ場や再生活動を海洋教育の土台とし、地域内外の学校や市民、様々な業種の人々が地域や世代、立場を超え共に取り組む。
- ★海洋プラチックごみも、子どもたちと拾い、どこから流されてくるか一緒に考え、ごみを使ったアート作品を作る。令和4年度の海洋教育と体験の参加者数は2,532人。



アマモ流れ藻回収



小学生による海ゴミの回収

カンキツスタンドオレンジ

- ★様々な柑橘が生産されている瀬戸田地区が抱える、生産者の高齢化、柑橘加工品の販売先確保等の課題解決の取組。
- ★地元の株式会社Stapleが令和4年7月から瀬戸田の柑橘を専門に扱うジューススタンドをJR尾道駅1階に開業。農家と直接取引を行い現在23種類の柑橘ジュースを販売。令和4年度売上は10,800千円。
- ★取引生産者は3軒から10軒まで増加。店舗販売以外に広島市内や都内でのイベントに積極的に出店し、瀬戸田の柑橘をPR。



店舗で販売をしているジュース・かき氷



瀬戸田の柑橘農家と共同開催をしたジュースの試飲会

株式会社神東ファーム

- ★平成30年、神東地域振興協議会が地域おこし協力隊員とレモン栽培を構想中「後発組は希少価値の高い新品目で勝負」とマイヤーレモンを選択。
- ★栽培方法を習得後、同協議会の部会「レモンの会」を発足し、借り受けた耕作放棄地を開墾。行政の支援で(株)神東ファームを設立。
- ★地元銀行等の支援を受け、地元大手スーパーや老舗旅館など県内販路が定着。果汁100%の「そのまんまのマイヤーレモン」も今年から販売し千数百本が完売。令和4年度の収穫量は7t、売上は3,400千円。



11月頃のマイヤーレモン



小学生の農業学習

一般社団法人 そらの郷

- ★世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による所得向上、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。
- ★体験型教育旅行として、都市部中学生・高校生の受入家庭での農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。
- ★農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアーによるインバウンド誘致が、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティの面で高く評価されている。



伝統的な農作業ツチアゲ体験



地元農家との交流(餅つき体験)

株式会社本家松浦酒造場

- ★酒造会社が県内の様々な関係者と連携して行う取組。
- ★平成元年から原料を全て徳島県産にした日本酒の製造や平成24年から徳島県上勝町の棚田米を使用した日本酒、ゆこう使用のリキュールの製造の取組を通じ、生産者と連携。近隣の醤油蔵と連携した見学会を実施。令和4年度は直売所来場者15,876人、売上は26,000千円。輸出にも取り組む。
- ★大阪国際万博等のインバウンド需要を見据え、YouTubeなどで酒蔵地域周辺を案内する多言語化動画の配信やHPを作成。



酒蔵でのイベント開催



棚田米やゆこうを使った酒造り

- ★津田地区の海辺を中心としたエリアリノベーションと農泊の推進。
- ★使わなくなった漁業倉庫や空き家への新規出店希望者の誘致、移住者支援を実施。令和4年に市と連携し地域おこし協力隊制度を活用した新規出店(ピザ店)をきっかけに出店増加。応募時点で4店が開店し今後も開店予定。
- ★地域おこし協力隊募集の際、採用者以外の応募者も協議会等がサポートし、家族を含む9名が市内に移住。



PORTO PIZZA



空き家DIYの様子

愛媛県西条市

愛媛県立丹原高等学校 草花班

- ★地域を花木の一大産地とするため産官学民が連携し、苗の生産技術を確認する取組で、苗生産が不安定な品目の穂木～発根～出荷のプロセス構築の研究を同校が担当。
- ★同校の菊栽培技術を応用し平均19%の発根率が62%と有効性を確認。挿し穂の直径や挿し木時期による違い、地元JAと連携した生育環境での違いも調査。農家に還元可能な技術として成果は県東予地方局の「花木栽培マニュアル」に掲載され普及。地域では花木を主とした新規就農者も誕生。そのほか花木のPR活動も実施。



花木のPR活動



産官学民連携プロジェクト成果発表

愛媛県宇和島市

企業組合津島あぐり工房「あすも」

- ★平成15年創業。地域の豊かな農水産物の加工品・惣菜など製造販売。地域農産物の需要拡大と、地域経済活性化による成長持続型活動を展開。
- ★平成24年「企業組合津島あぐり工房」として法人化。農家レストラン「あすも」をオープン。令和4年度の売上は42,000千円。スタッフが創業当初の4人から9人に増え、令和4年から廃校活用の新店舗に移転。
- ★平成30年西日本豪雨災害の教訓で始めた月一回の「ふれあいモーニング」は1日100人以上が来店。地域コミュニティの場に。



人と食、人と地域、食と地域をつなぐ活動一覧



廃校教室を活用した農家レストラン部門「あすも」

高知県香南市

井上ワイナリー株式会社

- ★高知の気候・風土に適したブドウ品種を選び、県内各地の生産者と一緒に栽培。県内各地の様々な料理と合うワインを醸造し高知の新しい食文化を提唱。
- ★平成24年に南国市で定植以来、栽培を5市町に拡大。耕作放棄地も再生。地元の老人クラブや高校生に収穫やラベル作りの手伝いを依頼。
- ★令和3年に自社醸造を開始、令和4年にショップを併設。ワインの試飲・販売、地域食材使用のグロスリー商品等販売。売上は令和4年度61,822千円。



地域の方々と共に収穫作業



地元高知産ブドウを使用したワイン

高知県津野町

農村交流施設「森の巣箱」運営委員会

- ★住民の声をきっかけに、廃校となった旧小・中学校の校舎を活用し平成15年に設立した「森の巣箱」は、集落コンビニ、居酒屋、宿泊施設を備えた複合交流施設。
- ★安定経営のため、運営費用は各世帯の出資金、世帯毎に毎月「購買協定」を締結。宿泊施設で得た外貨も活用した、補助金に頼らない運営。施設職員(常勤1名、パート1名)以外住民も役割分担。
- ★イベント開催や修学旅行生受入も実施。令和4年度の売上は、コンビニ1,636千円、居酒屋1,282千円、宿泊施設3,039千円。



集落コンビニ



居酒屋

徳島県阿波市

寺井 稔

- ★平成24年に発足した阿波市の農業後継者グループ「GOTTSO阿波」の中心メンバーとして活動。
- ★農業や野菜の魅力発信、所得向上や農業人口増加を目指した活動、野菜の出張販売や広報を行い、地域のナスをブランド化。ナス好きの子供を増やそうと地元幼稚園や小学校で食育実施。
- ★グローバルGAP等を取得し2020東京オリ・パラの選手村へブランドナスを納品。それをきっかけに輸出、新たなブランド野菜育成に努める。



コロナ禍が明け試食販売を再開



食育の授業

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第10回選定) 応募地区(者) 一覧 (香川県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取り組み		
①		団体	高松市	大野豆プロジェクト	農業	6次産業化	伝統の継承
②		団体	高松市	香川県三郎池土地改良区	教育機関との連携	農村環境・景観保全	-
③		団体	高松市	特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会	農村文化体験	棚田保全	多様な分野との連携
④		団体	高松市	特定非営利活動法人 香川県社会就労センター協議会	農業	農福連携	障がい者の活躍
⑤		団体	丸亀市	塩飽部隊	農村文化体験	女性の活躍	学生・若者の活躍
⑥		団体	坂出市	坂出第一高等学校 食物科	地産地消	食育・教育	学生・若者の活躍
⑦		団体	観音寺市	大野原地域資源保全会	農村環境・景観保全	食育・教育	-
⑧		団体	観音寺市	五郷里づくりの会	伝統の継承	関係人口の創出	小さな経済の循環
⑨		団体	観音寺市	油井水土里保全組合	農業	農村環境・景観保全	-
⑩		団体	さぬき市	一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会	企業との連携	移住・定住	関係人口の創出
⑪		団体	さぬき市	香川県立石田高等学校 ワンダーフォーゲル同好会	棚田保全	食育・教育	学生・若者の活躍
⑫	奨励賞	団体	さぬき市	株式会社 安岐水産	企業との連携	地産地消	伝統の継承
⑬		団体	三豊市	株式会社 アドラポアグリ	スマート農林水産業	地産地消	農福連携
⑭		団体	三豊市	下高瀬子どもすこやかボランティア・ 三豊市立下高瀬小学校	地産地消	教育機関との連携	食育・教育
⑮		団体	土庄町	小豆島陽当の里伊喜末	6次産業化	農村文化体験	鳥獣被害防止
⑯		団体	小豆島町	小豆島町中山棚田協議会	棚田保全	伝統の継承	農村環境・景観保全
⑰		団体	三木町	丸岡生き活きクラブ	農業	農村環境・景観保全	女性の活躍
⑱		個人	綾川町	金盛 友彦	農村文化体験	移住・定住	関係人口の創出
⑲		団体	琴平町	苗田東環境保全の会	移住・定住	食育・教育	農村環境・景観保全
⑳	奨励賞	団体	多度津町	香川大学たどつまちLabo	学生・若者の活躍	景観保全	関係人口の創出
㉑		団体	まんのう町	一般社団法人サンフラワーまんのう	農業	6次産業化	雇用
㉒		団体	まんのう町	島が峰の原風景を守る会	6次産業化	棚田保全	荒廃農地対策
㉓		団体	まんのう町	帆山地域保全活動組織	農業	6次産業化	農村環境・景観保全
㉔	奨励賞	団体	まんのう町	満濃池土地改良区	農業	伝統の継承	多様な分野との連携

第10回記念賞応募地区

No.	部門	市町村	地区名	過去の選定実績
①	団体	多度津町	農事組合法人 たどつオリーブ生産組合	平成27年度(第2回)選定

応募地区（者）位置図（香川県）

※ 青は第10回記念賞応募地区



おおのまめ

大野豆プロジェクト

～「大野豆」復活とその次世代への継承活動～



「大野豆」を収穫する高校生



給食用空豆の殻をむく中学生

経緯

- 絶滅が危惧される讃岐長莢空豆（通称「大野豆」）の生産復活を願う有志35名が、休耕田約50aを活用して栽培を始めた。
- 販売先の（有）筒井製菓に加え、「まめっ子」と称される地元の児童・生徒も参加し、活動の輪が広がっていった。

取組内容

- 夏は大豆・黒豆・小豆を栽培、冬は大野豆と一寸豆を栽培し、年間合計約2tを販売。
- 大野豆の栽培体験を「大野豆復活物語」や「6次産業化事例」として公開講座や交流会等で発表。
- 地元の児童・生徒が豆栽培、豆腐・しょうゆづくりを体験。

活動の効果

- 耕地面積は約75aとなり、生産量増加と共に高齢者や身障者もプロジェクトに加わって活動しており、地域活性化に貢献している。
- （有）筒井製菓で製造されている国産の豆菓子「大野豆」（フライビーンズ）は、優れた品質で高い評価を受けている。
- 地元の児童・生徒に地域のこと知ってもらう総合学習は活動を広げる核となっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

農地の減少、宅地化が進む「大野豆」生産地域ではあるが、「大野豆」復活・継承に協力いただける農家や企業と連携し、農地を有効活用して生産性を高めたい。

住所・電話番号・SNS等

高松市香川町大野1329-1 Tel:087-886-1960

かがわけんさぶろういけとちかいりょうく

香川県三郎池土地改良区

～多面的機能を有するため池との良好な共存～



クリーンアップ作戦



専門家による生態説明

経緯

- 堤防エリアを公園整備したことや、近傍にある日山の登山道を整備したことで利用者が増え、ゴミ対策と景観保全、水質改善が課題となった。
- 地域住民、児童、高校生などの協力を得て、平成22年からクリーンアップ作戦を展開することにした。

取組内容

- 3年に1度池干しの落水にあわせてクリーンアップ作戦を実施し、ゴミの除去や外来生物の駆除を行う。
- 平成25年から小学生の校外授業として、三郎池に住む生物について、淡水魚の専門家を招いて説明会を開催。
- 地元小学生と一緒にゆるぬきを実施。

活動の効果

- クリーンアップ作戦により水質が改善し、捕獲したすっぽんを活用してジャンボタニシも駆除できた。
- 三郎池の多面的機能について地域住民の理解が進み、緊急時の避難経路等について池の存在を意識した計画が策定できた。
- ゆるぬきを体験したり生物を観察したりすることは、子供たちにとって池に関心を持つ大切な機会になっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

クリーンアップ作戦の活動をさらに活発化したい。今後も地域の人々と連携して、ため池の重要性をPRしながら適切な維持管理に努めたい。

住所・電話番号・SNS等

高松市三谷町2286-3 Tel:087-889-0005

とくていひえいりかつどうほうじん おくしおのえこうりゅう

きょうかい

特定非営利活動法人 奥塩江交流ボランティア協会

～スローライフを楽しみながら持続可能な社会に貢献～



楽農人事業 茶畑再生



木造講堂で うたごえ喫茶

経緯

- かつては木・炭・農産物の供給地や交通の要所として賑わっていたが、過疎化が進んで小・中学校も次々と廃校になり急速に地区の活気がなくなっていた。
- 有志20名が中心となり、地区の活性化を目的として平成18年に当協会を設立した。

取組内容

- 塩江茶の畑の多くが耕作放棄地となって景観を損ねていたことから、「楽農人事業」として茶畑の再生やソバの栽培を行う。
- 地元の食材を使った食事会等を行う「まんぷく会」や木造講堂の響きが魅力の「うたごえ喫茶チャロ」を毎月開催。
- 山歩きや炭焼き体験など自然に触れながら環境への意識を高めるイベントの実施。

活動の効果

- 少しずつ耕作放棄地を減らすことに貢献している。現在はお茶だけでなく、地元農家と協力してソバや野菜も栽培して道の駅等で販売している。
- 廃校跡の「モモの広場」を拠点としたイベント「まんぷく会」は料理、寄席、音楽、ダンスなど多彩な内容で継続し開催が200回を超えた。長年地区内外の人々が交流の輪を広げ、奥塩江の魅力を感じながらスローライフを楽しんでいる。

応募団体からのアピール・メッセージ

農業経験がなくても楽しみとして農業に関わる「楽農人」の活動が注目されています。自然と歴史の豊かな奥塩江と関わりを持つことがステータスと思われるような地域になることを目指します。

住所・電話番号・SNS等

高松市塩江町上西甲29-1

～障がい者と農業者の架け橋として～



水耕栽培の収穫作業



採種玉ねぎの収穫作業

経緯

- 農家の高齢化が進み、後継者不足のために作付面積が減少した。
- 障がい者福祉施設では、受託作業の減少や自主製品の販売不振から収益が減少し、一人あたりの月平均工賃が1万円台と低迷。
- 農福連携によって双方にとってプラスになる取組がスタートした。

取組内容

- 平成23年から、「共同受注窓口」を設置し、農作業請負のマッチングを行う。
- 障がい者の工賃向上を図るため、作業の種類や量を見直して値上げ交渉を実施。
- 農作業に参加する障がい者施設を増やすため、農福連携支援員やジョブコーチを委嘱して現場で細かな支援ができるようにした。

活動の効果

- 参加施設数、農作業依頼者数ともに増加し、令和4年度は前年度比107.3%の延作業人数となった。
- 効率的に作業ができるようにマッチングを工夫することで、出来高が増えて工賃が上がった。前年度比114.7%の増額となった。
- 「ノウフク・アワード2020 審査員特別賞」を受賞。

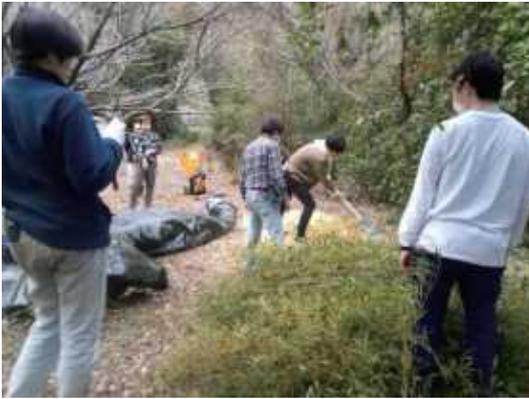
応募団体からのアピール・メッセージ

参加する福祉施設を増やし、継続して農作業に取り組めるように現場で細やかな支援を行っていきたい。農家と施設利用者の所得や工賃向上が生きがいややりがいにつながるように、他人と接する時の言葉や態度は力まず肩の力を抜き、自然体で、誠心誠意その人の為に、自分ができる全ての事を考えて実行することが大切です。

住所・電話番号・SNS等

高松市元山町1193-2 Tel:087-813-1420

～瀬戸内海の島はSDGsラボ～



生態系調査



企業新人研修・移住者とのトークセッション

経緯

- 手島は高齢化率90%、周囲10キロ、人口わずか15人。平成28年に京都大学の学生と島を訪問し、島の人たちの力強さと優しさに感銘を受ける。
- 手島を自然循環のモデルアイランドにしようと、島民、京大生、NPO「四国夢中人」が一緒になって「塩飽部隊」を結成。

取組内容

- 「瀬戸内海海洋ゴミゼロ作戦」に協力し、海岸に漂着したゴミを回収。
- 大学生による生態系調査。
- 島の歴史や暮らしを後世に残すため、カナダ人YouTuberが日本語・英語・仏語でドキュメンタリーを制作。
- 企業研修や外国人のキャンプなどで島民との交流の機会を創出。

活動の効果

- コロナ禍以降は島民の暮らしにフォーカスした動画配信を始め、「自然と人の融合」を世界に向けてアピールしている。
- 企業や大学、市民団体を巻き込んで活動することによって、様々な分野の人々の交流を生み、島を守る担い手の確保につながっていく。

応募団体からのアピール・メッセージ

島民の暮らしや海洋漂着ゴミ回収プロジェクトを通して、SDGsの観点から「我々は今何をすればいいのか？」を問いかける動画を配信しています。

住所・電話番号・SNS等

丸亀市7番丁-71

さかいでだいいちこうとうがっこう しょくもつか
坂出第一高等学校 食物科

～高校生が伝える生きた教材～



調理実習



完成メニュー



試食会でプレゼンテーション

経緯

- 市が令和4年に各学校併設の調理場を統合して坂出市学校給食センターを新設。多彩なメニューが調理可能になった。
- 市内の児童・生徒に食を通して地域への理解を深めてもらうため、高校生の発想力を活かして地産地消の給食メニューを考案することになった。

取組内容

- 地場産物について説明を受け、栄養バランスやアレルギーへの配慮、目安金額などを学習後、班ごとに給食メニューを考案。
- 調理実習を行い栄養教諭の講評を受けてメニューを改良。
- 関係者を招いて試食会を実施。
- 金時いもの収穫を体験。
- 小・中学生に食育授業を実施。

活動の効果

- 給食ならではの制約などに苦慮しながらも、仲間と協力して柔軟な発想でメニューを完成させた。試食会でも好評を得て、5品(ジェノベーゼソース風スパゲッティ、鶏肉と三金時のみかんソースあえ、ダブル金時サラダ、金時みかん香るスズキの甘辛、金時いもとりんごのケーキ)が給食で提供されることになった。
- メニューの考案や農業体験は将来にもつながるやりがいのある取組であり、想像力や発想力を鍛える良い経験になった。

応募団体からのアピール・メッセージ

子どもたちが地元の食材を楽しみながら味わえるメニューが完成した。取組を通して得た知識を活かして小学校で食育授業を行うなど、地産地消を広めるきっかけづくりも予定している。

住所・電話番号・SNS等

坂出市駒止町二丁目1番3号 Tel: 0877-46-2157

大野原地域資源保全会

～環境保全活動で地域住民交流・連携を図る～



道路沿いのゴミ拾い



公共エリアに植栽

経緯

- 地域の国道や県道沿いの水路や農地に空き缶等の投げ捨てが多く、その対応に苦慮していた。
- 平成26年度より多面的機能支払交付金を活用して地域の環境保全活動に取り組む。

取組内容

- 地域住民が世代を超えて交流し、地域を守っていくため、地域内の風の子ども会、八兵子ども会、寿子ども会、上杉子ども会に呼び掛け、子どもたちを中心に親子でのゴミ拾いや落ち葉拾い、カーブミラー清掃等を実施。
- 環境美化のため公共エリアに植栽。

活動の効果

- 子どもたちと一緒に活動することでお互いが顔見知りになって、子どもたちは挨拶ができるようになった。大人も、子どもに声かけするなどして防犯上の効果が見られるようになった。
- 地域を良くしようとする意識が高まり、住民同士の関係が良好になってきている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の子どもの数が減っていく中で、清掃活動を通して世代を超えた交流を行っている。地域の環境保全の重要性や地域住民の交流による地域の活性化について理解してもらえるようより積極的に活動していきたい。

住所・電話番号・SNS等

観音寺市大野原町大野原1368-1 Tel:0875-54-2035

ごごうさと かい
五郷里づくりの会

～GOGO五郷！文化は山から降りてくる～



手作りの石窯でピザ作り体験



蕎麦打ち体験



五郷水車

経緯

- 人口減少や高齢化が進む中、市町合併による地名の消失や小学校の廃校により地域コミュニティの存続が危ぶまれていた。
- 平成23年、五郷地域の活性化に寄与するため、活動の母体となる「五郷里づくりの会」が発足。

取組内容

- シンボルの「五郷水車」を復活させ、「水車米」の精米やそば粉作りなどに活用。
- 地元の農産物を活用したピザ作りやそば打ち体験を実施。
- ガイドと共に里山を歩いて郷土料理を楽しむツアーを開催。
- 農作業を体験する「百笑人イベント」を開催。
- SNSや「里づくり新聞」で情報を発信。

活動の効果

- 地域住民の理解が深まって団結力が一層強まった。
- 情報発信によって知名度が上がり、豊稔池などを訪れる人が増えた。
- 「五郷ピザづくり体験」の収益化に成功し、小さな経済の循環に貢献している。
- 「百笑人イベント」にはSNSを通じて県外からも参加があり、関係人口の創出・拡大につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域の資源「ヒト・モノ・コト」を活かし「人が輝く里山づくり」を目指して、五郷の独自性を大切にしながら活動しています。

住所・電話番号・SNS等

HP: <http://gogou.jp/>

観音寺市大野原町井関696 Tel:0875-54-4489 FB: 五郷里づくりの会

油井水土里保全組合

～各種団体の連携、協力による農村環境づくり～



アサギマダラの飛来



公園に鯉のぼり掲揚

経緯

- ほ場整備をきっかけとして、遊休農地の解消と受け継いできた水資源の維持管理を図るため、当組合が発足。
- ため池を中心とした農村環境を守るため、一丸となって住みよい、楽しい、美しい地域づくりに取り組んでいる。

取組内容

- 旧五兵池を公園整備して、桜などを植栽しビオトープを造成。平成29年よりアサギマダラを呼び寄せるためにフジバカマを栽培。
- 広庄池、遊水池の堤防にアジサイなどを植栽。水資源の環境保全のため、藻の除去や水路清掃等の保守作業を定期的実施。
- スポーツ大会や花見、いきいきふれあいサロンなどの開催。

活動の効果

- フジバカマの栽培によりアサギマダラの飛来を確認した。
- ペタンク大会など子どもから高齢者まで楽しむことができるイベントの開催で三世代の交流が深まっている。
- 自治会、老人会、子供会などとの協力体制ができ、地域の環境作りがますます促進されている。

応募団体からのアピール・メッセージ

フジバカマの栽培規模拡大に努め、旅するチョウ「アサギマダラ」が飛び交う憩いの場として多くの人に訪れてもらいたい。

住所・電話番号・SNS等

観音寺市柞田町乙3319



いっぱんしゃだんほうじん

しつだちく

きょうぎかい

一般社団法人 さぬき市津田地区まちづくり協議会

～津田町の365日をデザインする～



PORTO PIZZA



空き家DIYの様子

経緯

- 漁業が衰退し、地区の将来に問題意識を持った住民らが前身の団体を設立。農林水産省の交付金事業に採択されたことをきっかけに活動を開始。
- 地域内の事業者同士のつながりが生まれて、継続的にまちづくりを推進していきたいという思いが強まり当協議会を設立。

取組内容

- 地域おこし協力隊として店長を募り、使われなくなった漁業倉庫を改修してピザ店「PORTO PIZZA」をオープン。
- 倉庫や空き家を活用して新規出店したい人の誘致や移住者を支援。
- 関係人口の創出を目的に、長期滞在(2週間～1か月)しながらまちづくりに関わってもらう機会を設ける。

活動の効果

- ピザ店はオープン3か月で1,246人が来店した。地元の津田高校の生徒もDIYに参加したり、まちあるきMAPを作成するなど活動の頼もしいパートナーとなっている。
- 店長の選考で採用されなかった方をサポートすることで移住につながった。
- 交流拠点となるピザ店を20代の移住者に任せたことで、エリア全体に若者がチャレンジしやすい土壌ができた。新たに3名が飲食店や雑貨店を開業することになり、空き家活用のモデルケースになっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域内で資源を循環させる取組として、造園業者が廃棄する木材などを薪にしてピザを焼き、できた木灰は藍染め工房で使っている。今後は電動キックボードやレンタサイクルなどを整備し、地域を周遊しやすくして集客につなげたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市津田町鶴羽1520-130 Tel:080-8638-4528

かがわけんりついでこうとうがっこう

どうこうかい

香川県立石田高等学校 ワンダーフォーゲル同好会

～大人から教わる山仕事 僕らの青春～



神饌田で田植え



囲炉裏で野外炊飯



渇水対策として上流に新水源設置

経緯

- 昆虫や水生生物の研究者である卒業生が、耕作放棄地だった里山を一人で整備し守っていた。
- 体力の限界を感じて母校の後輩たちを里山に誘う。
- 活動の楽しさや面白さは代々受け継がれ、学校を飛び出した「山の授業」となっている。

取組内容

- 毎月第1・第3日曜日に五名地区の里山に入り、「Gomyo倶楽部」の大人たちに教わりながら棚田の耕作、植物観察、水源の管理、下草刈り等の里山保全活動を行う。
- 自作の囲炉裏で昼食を野外調理。
- 春の自然観察会やお田植え祭、秋の稲刈り体験会など、地域の子どもたちと行う活動の運営に協力。

活動の効果

- 以前は竹が山を浸食して、伐採するのに何年もかかるほど荒廃していたが、今は棚田の米も収量が増して健全な里山に再生しつつある。
- 活動の輪が広がって香川大学が棚田で水位自動観測システムの研究を始めた。
- 支えてくれる大人たちと一緒に活動を続けることで、自信を持って自然に向き合うことができるようになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

山に分け入ると知らないことがいっぱいの世界がある。大人たちから教わる山仕事も調理もすべてが充実して面白い。その魅力を里山から発信し、里山保全活動を進化させていきたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市寒川町石田東甲1065 Tel: 0879-43-2530

奨励賞

かぶしきがいしゃ あきすいさん

株式会社 安岐水産

～海を知る、遊ぶ、食べる、体験する。～



お魚捌き方教室



お魚タッチプール



ふるさと海岸ビーチクリーン

経緯

- 「生きる喜びを創る」という経営理念のもと「古くから培った日本の魚食文化を次世代につなぐ」という熱い想いを抱く者が集まって「お魚生活すすめ隊」を結成。
- 香川県のブランド魚の魅力やおいしさを知ってもらう活動、豊かな海を守る環境保護活動など漁港や地域の活性化に取り組む。

取組内容

- 親子を対象とした漁師さんとの食育ツアーやお魚捌き方教室などを開催。
- 里海ガイドを招いてゴミに対する考えを深めながらビーチクリーンを実施。
- 香川大学や地元企業と連携して地元食材を使った商品の開発・販売。
- アンテナショップ「ねこ海レストラン」をオープン。
- 津田港わくわくフェスティバルを開催。

活動の効果

- 参加者にお魚を身近に感じてもらいながら、命をいただくことの意味を伝えることができた。
- マルシェにも出店し、「讃岐でんぶくの唐揚げ」や「さぬき蛸のたこ飯」など県のブランド魚の魅力在市外の人にも知ってもらえた。「さぬき蛸といりこの瀬戸内アヒージョ」は「かがわ県産品コンクール」で知事賞を受賞して贈り物としても人気が高い。
- 津田の松原周辺は近年ホットなスポットになってきている。

応募団体からのアピール・メッセージ

「生きる喜びを創る」という経営理念のもと、たくさんの方にお魚の魅力やおいしさを知っていただく活動を継続していきたい。地域が一体となり、人が集う場所作りや津田に足を運んでもらえる動線を作っていきたい。

住所・電話番号・SNS等

さぬき市津田町津田1402-23 Tel:0879-42-3037

かぶしきがいしゃ

株式会社 アドラボアグリ

～わノクニファーム×やさいバス＝農家の希望～



水耕栽培施設での作業

わノクニファームの
ベビーリーフ

やさいバス

経緯

- 地域貢献のため農福連携を念頭において農業を始めようと決意。
- 障がい者が室内で通年働けるように、「ベビーリーフの水耕栽培」を選択して「わノクニファーム」の事業を開始。
- 農家の所得向上を目的に、流通コストを抑えて地域の生産者と消費者を結ぶ「やさいバス」事業に着手。

取組内容

- ベビーリーフ栽培に加えて果樹（桃・レモン）栽培にも取り組み、障がい者の特性に合った作業ができるように環境を整えて雇用を促進。
- 「やさいバス」事業を行政や地元企業と連携して運営。様々な小売店と交渉を重ねて販路を拡大し、愛媛県でも事業を開始。
- 今後、学校給食センターと連携して地域農家の規格外品を提供し、地産地消を促進。

活動の効果

- 徐々にベビーリーフの受注が増えて安定した障がい者雇用が進んでいる。今後はコレワークも検討中。
- 事業拡大により近隣農家の閑散期の雇用を生み出して地域活性化に貢献している。
- 「やさいバス」事業の販売先が増加して、農家の販路拡大や所得向上、地産地消やフードロス削減などにつながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地域貢献を第一に考えて農福連携に取り組んでいる。行政や企業、JAなどを巻き込んで地域の農業を元気にするようなアイデアをどんどん発信していきたい。

住所・電話番号・SNS等

三豊市三野町大見甲469

しもたかせこ

みとよしりつしもたかせしょうがっこう

下高瀬子どもすこやかボランティア・三豊市立下高瀬小学校

～食への感謝と環境を守る心を育む～



田植え



水車体験



アイガモ放鳥

経緯

- 29年前、初代代表が休耕田を活用して子どもたちに農業を体験させたいと考えた。
- 下高瀬小学校の職員と思いが一致し、平成6年に「下高瀬子どもすこやかファーム」活動を開始。
- 賛同者を募って、地域ボランティアとして児童の米作り体験を継続的に支援することになった。

取組内容

- 昔ながらの水車・田植定規・脱穀機等を使った農業体験。
- アイガモ農法で環境にやさしいお米を有機栽培。
- 地域のよろず市で、ポスターなどで活動を紹介しながら栽培したお米を販売。
- 収穫したお米で郷土料理づくりやもちつきなどを行う「感謝のつどい」を開催。

活動の効果

- 子どもたちは米作り体験を通して、作物を育てる仕事の大変さ、昔の人の知恵や工夫、命と食のつながり、感謝する心など多くのことを学んでいる。地産地消などSDGsの観点からも意義深い。
- 活動は今年で30年目となり、地域と学校をつなぐボランティアの具体的な姿として重要な役割を果たしている。

応募団体からのアピール・メッセージ

子どもたちにとっては、素足で入った水田の土の感触、アイガモの温かさや鼓動、稲刈りの匂い、お米が売れた達成感などが忘れられない思い出となっている。米づくりを通して、生産者への感謝や自然環境を守る心などを育むことが、これからの時代を切り開く子どもたちの生きる力の素地を形成している。

住所・電話番号・SNS等

三豊市三野町下高瀬760-1 Tel:0875-72-5401

しょうどしまひあたり さといぎすえ

小豆島陽当の里伊喜末

～農業の大切さや地元への愛着心を伝えたい～



100%小豆島産ビールの完成



芋づるの塔



二条大麦の収穫

経緯

- 瀬戸内海を望む風光明媚な地区だが、過疎化・高齢化が進み、数年前から荒廃地が目立つようになってきていた。
- 危機感を抱いた有志が農業振興と明るく元気な農村づくりを目指して活動を始め、平成29年度に当団体を立ち上げた。

取組内容

- ビール醸造所「まめまめビール」と協力して100%小豆島産のクラフトビールを誕生させる「二条大麦プロジェクト」を実施。
- サツマイモのつる挿しやタマネギの収穫など、子どもたちの農業体験を実施。
- 年に一度産直市を開催して地域の農産物や加工品を販売。

活動の効果

- オリーブ栽培生産業者を誘致し、耕作放棄地約2haを復活させた。最近ではバジルソース加工用にバジル栽培にも力を入れている。
- ビールの原材料となる大麦とホップを栽培し、100%小豆島産のビールが完成した。
- 子どもたちが収穫したサツマイモのつるで地域の風物詩「芋づるの塔」を作ったり、タマネギを給食に使ったりすることで、文化の継承や食育にも貢献している。

応募団体からのアピール・メッセージ

グリーン・ツーリズムや学校と連携した食育にも積極的に取り組みたい。さらに、オリーブ栽培を推進して耕作放棄地の解消と景観保全に努め、みんなが誇れる地域を目指していきたい。

住所・電話番号・SNS等

小豆郡土庄町伊喜末116-3

しょうどしまちょうなかやまたなだきょうぎかい

小豆島町中山棚田協議会

～先人の汗の結晶を未来へ継ぐ「中山千枚田」～



棚田アカデミー 荒代掻き



伝統行事 中山農村歌舞伎

経緯

- 中山千枚田では耕作者の高齢化と担い手不足が進んで、3割が耕作放棄地になっていた。
- 将来を危惧した地区住民が、文化や伝統の源である棚田を守るために当協議会を設立して様々な保全活動に取り組んでいる。

取組内容

- 担い手育成につなげるため島内の非農家を対象に棚田アカデミーを開始。
- 香川大学等による農業体験プログラムや小・中学校の郊外学習の受け入れ。
- 地元の酒造会社と連携して酒米の耕作に挑戦し、小豆島の地酒として販売。
- 棚田米と棚田米を使用したアイスをふるさと納税の返礼品にして全国にPR。

活動の効果

- 地元住民が改めて棚田の魅力に気づき、棚田の文化を守る意識が高まった。
- 大学との連携等により、大学生と共に活動することで活気をもらっている。
- 泥んこ遊びや耕作体験は子どもたちが千枚田に興味や関心を持つきっかけになっている。
- 酒米づくり等を実施することにより休耕田の減少につながった。

応募団体からのアピール・メッセージ

中山千枚田は「つなぐ棚田遺産」にも選ばれている貴重な棚田です。先代から受け継いできた棚田を守っていく仕組み・体制づくりを目指していきます。ぜひ、お立ち寄りください。

住所・電話番号・SNS等

小豆郡小豆島町片城甲44番地95 Tel:0879-82-7026

丸岡生き生きクラブ

～豊かな自然環境を農業者、非農業者の協力の下守っていきたい～



景観コスモス



水路修復工事

経緯

- 農地・水・環境保全活動に取り組むため、丸岡営農組合が中心となって結成。
- 丸岡集落の豊かな自然環境を守っていこうと、農業者以外の住民も一体となって活動している。

取組内容

- 4月 用水路清掃
- 5月 ため池堰堤草刈り
- 6月 用水路清掃
- 7月 ため池堰堤草刈り
コスモス播種地草刈り
ジャンボタニシ駆除
- 8月 コスモス地耕起、播種
- 9月 地域一帯の草刈り
- 11月 コスモス観賞会
- 12月 ため池堰堤草刈り

活動の効果

- 農業者以外にも様々な立場の住民と一緒に活動することで、丸岡集落の豊かな自然環境が守られている。
- 清掃や草刈りなどの活動に若い人の参加者が増えた。

応募団体からのアピール・メッセージ

役員や構成員の高齢化が急速に進み組織運営が非常に難しくなっている。活動内容を再点検して、何とか工夫を凝らして活動に取り組みたい。

住所・電話番号・SNS等

木田郡三木町氷上5264-4

かなもり ともひこ

金盛 友彦

～地域交流型シェアハウス十川邸～



大相集落の景観



地域交流型シェアハウス十川邸

経緯

- 綾上地区は人口減少や高齢化が深刻な問題になっていた。
- 地域課題の掘り起こしと解決策を探るため、町と地域住民の協力を得ながら様々な地域活性化の活動に取り組むことになった。

取組内容

- 地区の景観整備や保全などの自治会活動。
- 空き家だった古民家を活用し、地域交流型シェアハウス十川邸として整備して、お試し移住交流をスタート。
- 休耕田を活用して作物を栽培。
- サツマイモ収穫などの交流イベントを実施。

活動の効果

- 地域に入って住民とともに活動する中で、「若い人に来てほしい」「後継者がいない」といった切実な思いを受けとめ、移住や定住を呼びかける前にまず地域のことを知ってもらおうと、綾川町の魅力に触れられる交流拠点を整備した。
- 今年度から十川邸に1～2週間滞在して地域住民と農作業などを体験できるお試し移住交流をスタート。移住を見据えて地域をより深く知ってもらえるようになった。

応募者からのアピール・メッセージ

大相集落は美しい棚田の景観や、自治会交流が継続されている地域です。しかし会員の高齢化に伴いこれらの活動も、これからの10年間で大きく変わると思います。この地域にまずは来ていただき、地域交流を継続しながら、持続ある地域の方向性を考え、ともに関わっていきたいと思います。

住所・電話番号・SNS等

綾歌郡綾川町畑田1664-13

苗田東環境保全の会

～住民活動で苗田東の伝統と故郷愛を将来へ～



住民が協力して清掃・ポスター設置



獅子舞の継承

経緯

- 農業中心の地域づくりをしていたが、世代交代や少子化が進んで住民同士の交流が希薄になり、伝統行事の継承も難しい状況になっていた。
- 地区の将来を担う子供たちと一緒に環境保全活動を行うことで、以前のような交流が盛んな地域づくりに取り組むことにした。

取組内容

- 子供会と連携して道路沿いに投げ捨てられた空き缶等のゴミ拾いを実施。
- 地域の景観を守るために防草シートを設置。
- 子供たちが環境保全や事故防止、苗田東のPRなどのポスターを作成。防水加工してゴミの投げ捨てが多い幹線道路沿いや危険な場所などに設置。

活動の効果

- 子供を中心とした活動に大人も一緒に参加することで、地区住民の交流が深まって地元を良くしようとする意識が高まった。
- 子供達が進んで獅子舞に参加するようになり、地区の重要な伝統文化の継承につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

誰もがアイデアを提案しやすい環境を作り、若い世代を中心に自主性を重視した活動を行って地区を発展させていきたい。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡琴平町苗田225 Tel:0877-73-3771

奨励賞

かがわだいがく ^{らぼ}
香川大学たどつまちLabo

～竹あかりで多度津を盛り上げたい！～



桜川でのイベント



使用する竹の伐採



竹あかりの展示

経緯

- 令和3年に設立した香川大学の学生プロジェクト。
- 多度津町指定有形文化財及び日本遺産である「旧合田家住宅」の清掃活動に参加。
- 明治～昭和の色を残すまちの姿に魅せられ、その魅力を伝えるために活動を開始。当時の繁栄を語る古い屋敷が立ち並ぶ「本通り」の「重要伝統的建造物群保存地区」選定を目指す活動に協力。

取組内容

- 地域の未利用資源である放置竹林の竹を伐採し、竹あかり作りのワークショップを開催。
- 多度津町のシンボル「桜川」の遊歩道沿いに竹あかりを展示して、まちを活性化するイベント「竹あかり～たどつの灯～」の企画・運営。
- 「第4土曜は！本町デー」で毎月本通りの街並みを竹あかりでライトアップ。
- 行政や民間団体とも連携しながら活動を実施。

活動の効果

- 地域住民と連携して定期的に竹を伐採することで放置竹林問題の解消に貢献している。
- ワークショップなどを通してまちの人たちとのつながりが生まれた。
- 竹あかりで照らすことによって本通りの歴史的建造物の美しさが引き立ち、TVや新聞でも取り上げられた。

応募団体からのアピール・メッセージ

継続的に竹あかりイベントを開催して多くの人に多度津の魅力を伝えたい。また、使用済の竹で竹炭を作り、河川や池に沈めることで水を浄化するなど、資源を地域内で循環させる活動にも着手したい。

住所・電話番号・SNS等

高松市幸町2-1 古川研究室 Gmail:tadotsulabo@gmail.com Instagram:tadotsu.machi.labo
Facebook:たどつまちLabo X:たどつまちLabo

いっばんしゃだんほうじん

一般社団法人サンフラワーまんのう

～黄色い魔法のかかる町まんのうへようこそ!!～



夏空と満開のひまわり



高品質のひまわりオイルプレミアムと石鹸

経緯

- 平成元年から地域おこしとして農業法人や町がひまわり事業に取り組んでいた。
- 令和3年に、6次化を推進してさらなる農業振興や観光振興につなげるため当法人を設立。拠点となる「まんのう町ものづくりセンター」の管理運営を町から受託して活動している。

取組内容

- マスメディアやネットを活用して「ひまわりの町まんのう」を県内外に広くPR。
- 「まんのうひまわりオイル」をはじめとする製品の製造・販売。
- 町内の子どもたちが種まき、収穫、搾油を行う体験学習を実施。
- 販売先の開拓のため商談会に参加したり試食イベントを開催。

活動の効果

- 無農薬・無添加にこだわった「まんのうひまわりオイル」は、品質の良さが高く評価されている。
- 今年度は「黄色い魔法の洗顔せっけん」を企画販売し、新たな可能性を開拓した。
- ひまわり畑を訪れた人々がSNSに投稿することでまんのう町の知名度が上がった。
- 子どもたちが農業の楽しさを知り、地域への愛着が深まった。

応募団体からのアピール・メッセージ

今後の夢は、オイル販売が軌道に乗り栽培面積を更に増やすことになれば、7月、町内に入った瞬間に主要県国道の周囲を一面の満開のひまわりで埋め尽くすことで通行人に驚きと元気をプレゼントしたい。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡まんのう町七箇2529-1 Tel:0877-89-6633

しま みね げんふうけい まも かい
島が峰の原風景を守る会

～初めて会った人達もいつか笑顔のソバづくり～



復活したソバ畑



ソバを食堂で販売



島ヶ峰そば

経緯

- 島が峰地区は標高約900mの山あいにある。かつては高冷地野菜を盛んに栽培していたが、人口減少や高齢化に伴い次第に衰退して荒地になっていった。
- 状況を憂いた数名の同志が平成28年より荒廃地を開墾し、寒暖差を利用したソバ作りを始めた。

取組内容

- 荒廃した農地を開墾し、かつての風景を取り戻すために耕作面積を拡大。
- グリーンツーリズムの一環として、開墾した農地の一部を利用したソバの栽培体験やソバ打ち道場を実施。
- ソバの花が満開となる9月下旬頃に「ソバの花見会」を開催し、打ち込みソバの無料接待や地元獅子舞の披露などを行う。

活動の効果

- 現在32haの荒廃農地を復活させており、徐々にかつての風景を取り戻しつつある。
- 復活したソバ畑として県内外で知名度が上がり、若い人も活動に参加するようになって活気があふれてきた。
- 見物客が増え、棚畑の美しさに魅了された写真家も多く訪れるようになった。

応募団体からのアピール・メッセージ

この地の食文化や風景を次世代に残したいという思いで、会員一丸となって取り組んでいる。更なるPRのためにオリジナルグッズや新商品の開発、PR動画の製作など、さらに皆さんに知ってもらえるよう、活動を展開していきたいと思ひます。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡まんのう町川東2467 Tel:0877-85-2111

ほのやまちいきほぜんかつどうそしき

帆山地域保全活動組織

～ほのやまロード ひまわりに託す夢と希望～



中山ひまわり団地



ひまわり迷路と幸せの鐘



ものづくりセンター瓶詰室

経緯

- 営農と農業インフラの維持・管理を行っていたが、高齢化により担い手が不足してきた。
- 地元土木建設業者と協定を結んで農作業を行ってもらう一方、地域の活性化を目指して地域資源を活かした6次産業化などに取り組む。

取組内容

- 集落の農道、ため池、水路などの保全。
- ひまわりオイル、ドレッシング、焼酎など多数の商品を開発。ひまわりの搾りかすを飼料や肥料にしたひまわり牛やひまわり米も誕生した。
- 約100万本の開花にあわせて「ひまわりまつり」を開催。ウェディングイベントやフォトコンテストなどの実施。

活動の効果

- 県内企業や地元の畜産農家と連携し、ひまわりを活用した特産品が多数誕生した。ひまわり焼酎「みちる」は一層香りが良くなり好評を得ている。
- 「ひまわりまつり」は地域住民の世代を超えた交流を促進し、県内外から多くの人を訪れる夏の風物詩に発展した。「幸せの鐘」の設置や夜間ライトアップなど写真映える新たな取り組みにも挑戦している。

応募団体からのアピール・メッセージ

「自分達の集落を自分達で守る」ための活動に取り組み、更なる省力化と生産性の向上を目指したい。併せて、後継者を育てて更なる地域の活性化を目指したい。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡まんのう町帆山627 Tel:0877-77-2256

奨励賞

まんのういけとちかいらょうく
満濃池土地改良区

～満濃池1300年の技術と歴史を未来へ“つなぐ”～



毎年6月に催される「ゆるぬき」



かりん会館で満濃池の歴史教育

経緯

- 長い歴史のある満濃池の管理者は時代とともに移り変わってきたが、昭和26年に「満濃池土地改良区」を設立し、管理規定に基づいた組織的な排水管理を行うようになった。
- 満濃池の歴史と先人たちの偉業を未来へつなげるための活動を積極的に行っている。

取組内容

- 複雑な水利慣行を次世代に伝えるため、組織体制を整えて後継者を育てている。
- アジア・アフリカ地域の技術者のJICA研修や県外の土地改良関係団体の現地視察を積極的に受け入れている。
- 郷土学習の一環として見学に訪れる小学生に満濃池の歴史や文化を伝えている。

活動の効果

- 地域農業を支える不可欠な知的財産である複雑な水利慣行を後継者に伝えるとともに、満濃池の技術、歴史や文化を伝えている。
- 近年は、マラソン大会、満濃池周遊道の開通、町役場のウォーキングイベントなど、満濃池を守り引き継ぐ土壌を育むために、各種団体等と連携し、文化的価値や多面的機能についてPRし、地域活性化にも寄与している。

応募団体からのアピール・メッセージ

弘法大師空海ゆかりの満濃池は、近年「世界かんがい施設遺産」に選出され、ため池として初めて国の「名勝」に指定された、未来へとつないでいくべき地域の宝です。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡琴平町榎井500-1 Tel:0877-75-3157

記念賞
応募

のうじくみあいほうじん

せいさんくみあい

農事組合法人 たどつオリーブ生産組合

～瀬戸内の小さな町で創った「蒼のダイヤ」～



デパートでの試食販売



オリーブ収穫祭

国産エキストラバージン
オリーブオイル 他

取組内容

- 耕作放棄地を利用し、県花・県木であるオリーブの栽培を開始。
- 地場産オリーブで6次産業化を行い、当法人を設立。その後、株式会社蒼のダイヤを設立し、「蒼のダイヤ」ブランドでオリーブオイルなどを商品化。
- オリーブの佃煮など新商品を開発し、学校やイベントで普及活動を実施。

前回選定後の情報発信の取組

- 会社設立後、テレビ、新聞、雑誌等から毎年数件の依頼があり取材を受ける。
- SNSでの情報発信を行い、ネット販売の売上げが増加。
- 今年から有料視察サイトへの登録を開始。
- 国際オリーブオイルコンテストにおいて、毎年のように金賞を受賞。
- 小・中・高・大学でオリーブ出前講座等による普及活動を実施。

前回選定後に発展させた取組及び成果

- 「株式会社蒼のダイヤ」を設立してオリーブオイルなどの加工・販売を本格化させた。
- オリーブの栽培面積は12haに拡大し、30tの果実を収穫。オリーブオイルなどの販売額は年々増加し、優れた品質が評価されている。
- 収穫祭や出前講座等で子どもたちの喜ぶ声や驚く顔に接し、活動が地域に広がっていく手応えを感じている。

応募団体からのアピール・メッセージ

ふるさと納税の返礼品としても人気があり、品質が良いとの好評をいただいている。社会情勢が日々変化する中で国産オリーブオイルのおいしさを伝え、地域の産業として定着・発展させる努力を継続していきたい。

住所・電話番号・SNS等

仲多度郡多度津町見立1856-3 Tel:0877-89-2797

